

江戸期～戦後までの 日野地方のわらべ歌・民謡展

近江日野商人館では、「江戸期～戦後までの日野地方のわらべ歌・民謡展」を7月1日から8月31日まで開催しています。

今回展示されている歌は、満田館長が直接聞き取り、30年前から調べたものと、町史を編さんするにあたり、アンケート調査をした成果です。次の世代に受け継がれることなく、まもなく絶えてしまいかねない、日野地方に伝わる、240点の歌を紹介しています。

わらべ歌に子守歌、仕事歌に祭り歌。なつかしい「からかい歌」など多数の歌が展示されています。また、この展示はNHK大津放送



▲たくさんの懐かしいわらべ歌に、会話も弾みます



▲「孫と『あんたがたどこさ』を歌って遊んでいます」と武本さん

局でも取り上げられ、商人館を訪れた「童謡の会まるやま」の皆さんが取材に応じておられました。訪れた武本みち代さんは、「日頃は、童謡や唱歌を歌っています。知らないわらべ歌もたくさんあるのだと気づかされました。また、子どものときに歌った歌もあって懐かしく思い出しました。地域に伝わったわらべ歌が、これからも受け継がれるといいですね」と、一緒に来られた皆さんと、展示された歌の一つひとつを確認していました。

今回展示されたものは、「『近江日野の歴史』第6巻 民俗編」にも掲載されることになっています。子どもの頃に歌った「あの歌」を、もう一度振り返ってみてはいかがでしょう。そして、これらの歌を子どもたちに歌ってあげてみてはいかがでしょう。

♪こんな歌があります♪

「大波 小波 でんぐり返して アップパッパ…」、「言うたる、言うたる、先生に言うたる」、「ケンケトケンなんまいだ 地蔵さんに賽銭あげとくれ…」、「あした天気になーれ」、「大麦 小麦 豆 小豆 二十四の作り物…」、「おっさーら おひとつ おひとつ落として おっさーら…」、「郵便屋さん 走らんせ…」、「ホイノコ ホイノコよ 松明集めよ…」ほか

◆問い合わせ先 近江日野商人館 ☎02007 有線01019 (月・金休館 大人300円 小・中学生120円)

日野町が生んだ 植物学者 橋本忠太郎の世界

日野町十禅師出身の植物学者、橋本忠太郎はしもとちゆうたろう(1886～1960)がその生涯で作った植物標本は3万点といわれています。

2007年、これまで知られていなかった標本約600点が必佐小学校で見つかりました。そこで、これまで植物学者以外ではあまり知られることのなかった橋本氏の功績を、改めて顕彰します。

- 資料の展示 8月3日(日)～8月8日(金)(4、5日は休館) 会場：日野町立図書館 (遺品、植物標本、関連資料展示)
 - 記念シンポジウム 「湖国の牧野富太郎と言われた橋本忠太郎氏を顕彰する集い」
8月6日(水) 会場：日野町立図書館 視聴覚室
 - ①デジタル紙芝居「橋本忠太郎さん」上映 13:30～13:50 対象：小学生以上
 - ②学術経験者と各界関係者によるおはなし 14:00～16:00
- <パネラー> 草加 伸吾 氏 (琵琶湖博物館 主任学芸員)
横山 和正 氏 (元滋賀大学教授)
橋本 正 氏 (橋本忠太郎氏の孫)
坂東 昌利 氏 (NHKテレビ放送記者)

●自然観察会『観察や自然とのふれあい』 9月28日(日) 会場：グリム冒険の森

共催：橋本忠太郎顕彰会、日野町立図書館 後援：琵琶湖博物館 日野町教育委員会

◆問い合わせ先 橋本忠太郎顕彰会 北村 誓 ☎01744 大塚マサ江 ☎0261 (必佐小学校内)

